

Cコース



めあて すきな新聞記事を見つけて

ともだちになりましょう。

一 ともだちになる新聞記事を見つけてみましょう。

見つけるヒントは、次のようなことですね。

- 1 自分のしたことなどと、にている新聞記事
- 2 知りたかったことがのっている新聞記事
- 3 自分がすんでいるところ（とくしまけんなど）とかんけいがある新聞記事
- 4 もし、自分だったらどうするかな、とったり考えたりした新聞記事
- 5 読んでみて、うれしくなったり、たのしくなったりした新聞記事
- 6 先生や家の方がすすめてくれた新聞記事
- 7 自分のすきなことがのっている新聞記事



二 どんなふうにして、ともだちになる、

新聞記事を見つけたら、

よいでしよう。

【新聞記事の見つけ方】



「阿波っ子タイムズ」もほかの新聞記事も、次の

ようなところがあります。そこに気をつけましょう。

【新聞記事のれい】



①見出し 大きな文字で書いてあります。

②リード この新聞記事のだいたいのことを書いてあります。

③しゃしん

※①、②、③のほかにくわしく書いてあります。

※しゃしんのよこや下にしゃしんのせつめいがあります。

【新聞記事の見つけ方のれい】

- 1 見出しを見たり読んだりする。
(何のことを書いた新聞記事かが、
わかります)
 - 2 しゃしんをよく見る。
(何のしゃしんか、どんなところの
しゃしんかが、わかります)
 - 3 リードを読んでみる。
(だいたい、どんなことを書いて
あるかがわかります)
 - 4 新聞記事を読みしよからさいごまで、
じっくりと読む。
- ※3までしてみると、その新聞記事に
どんなことが書いてあるか、わかり
だいたいのことがわかりますよ。



※ どうでしたか。自分のお気に入り新聞記事は
見つかりましたか。

三 新聞記事を読んで、感想文を書いてみましょう。

どんなことを書けばよいか、ちよつと、考えてみましょう。

- 1 ふしぎだな、すごいなと思ったこと
- 2 かわいいな、かっこいいなと思ったこと
- 3 自分のすんでいる町のすばらしさがわかったようなこと
- 4 知りたいことがわかったこと
- 5 たのしそうだなと思ったこと
- 6 よく考えるようなことがあったこと
- 7 きれいだなと思ったこと
- 8 自分もしてみたいと思ったこと
- 9 行ってみたいところを書いてあったこと
- 10 自分がしたことなどと同じようなこと

1 から10 のようなことを

書いていくと、新聞記事を読んだ

感想文ができあがっていきますね。



四 それでは、新聞記事を読んで、感想文を書いて
みましょう。

次の例のように書いてみましょう。

【例 十二月十五日 「阿波っ子タイムズ」】

「小惑星の砂採取『はやぶさ2』の

新聞記事を読んで、書きました。

「わたしのもと」を知りたいな

「カプセル日本に到着」と、「阿波っ子タイム

ズ」の表紙に大きな文字でのっていました。

わたしは、何のことかな。

カプセルって、どんなものかな、

ときいしよはふしぎに思いました。

わたしは、かぜを引いたときにのむ、

おくすりのカプセルをそうぞう

しました。でも、しゃしんを見て

みると、わたしがそうぞうしていたカプセルの形

とは、ぜんぜんちがって、おぼんにのせたきかい



のようなものでした。

新聞を読んでみると、「はやぶさ」という探査機たんさきが、小惑星しょうわくせいのりゅうぐうという星から砂を持って帰ったと書いてありました。わたしは、おじいちゃんに、

「どうしてこんなことをするのかなあ」

と聞いてみました。そうすると、おじいちゃんは、「その星の砂から、地球の生きもののもどがわかるけんじゃ。」

と、新聞に書いてあったことを話してくれました。

わたしは、「生きもののもどが

わかるなんて、すごい」と

思いました。そして、

「もしかしたら、わたしも

生きものなので、わたしのもとも

わかるのかな」と思いました。

わたしは、「わたしのもとって、なんだろう」

と考えてみました。もしかしたら、きょうりゅう



のずうっと前のもので、「ミジンコみたいなもの
だったのかな。それとも、もっと、ちいさいもの
だったのかなあ」と思いました。

おじいちゃんは、

「そうやなあ。なんかわからんけど、ねばねばし
たもんとちがうかなあ。」

と言いました。

わたしは、早く

「わたしのもと」を

知りたいと思います。

今のわたしは、人間で、

生きているけど、

「わたしのもと」は、人間の

ようなものではなかったと思います。

でも、もしも、「わたしのもと」がわかって、「わ
たしのもと」に会えたら、こう言います。

「生まれてくれたありがとう。わたしのもとさん
がいたから、今、わたしは、おともだちやかぞく



といっしょに、楽しく
しています。学校にも行って、
遊んだり勉強したりしています。
ほんとうにありがとうございます。」



そして、「わたしのもと」さんに、
「これからも、元気ががんばります。」と、お手
紙も書きたいです。

○ この感想文かんそうぶんは、どんなふうがあるか、考えて
みましょう。感想文かんそうぶんを書くときに、入れるといい
ですね。

- 1 おじいちゃん（ほかの人）も出てくる。
- 2 会話を使っている。
- 3 思ったことや考えたこと、ふしぎに思ったこ
とを書いている。
- 4 自分の経験けいけんを書いている。
- 5 新聞記事しんぶんきじにでてくるものに話しかけている。

みなさんも、いろんな新聞記事しんぶんきじを読んで、感想文かんそうぶん
を書いてみましょう。

Dコース

めあて すてきな新聞記事を見つけ

友達になりましょう。



一 友達になる新聞記事を見つけましょう。

友達になる新聞記事との出会いは、大切です。
友達になる新聞記事と出会うと、自分の考えが
広がりますね。

1 自分の心が動いたり、感動（かんどう）した
りした新聞記事

2 自分のような小学校のことや人がのっている
新聞記事

3 いつも、自分が考えたり思ったりしているこ
とと関係がある新聞記事

4 自分の経験とにていることがのっている
新聞記事

- 5 知りたいことを知らせてくれる新聞記事しんぶんきじ
- 6 学校などで習ったことと関係がある新聞記事しんぶんきじ
- 7 自分が住んでいるところ（徳島県など）のこ
とを書いてある新聞記事しんぶんきじ
- 8 自分が好きなことやきょうみがあることを書
いてある新聞記事しんぶんきじ

「阿波っ子タイムズ」などから、こんな新聞記事しんぶんきじ
を見つけてみましょう。

二 友達になる新聞記事しんぶんきじが決まったら、次のような
ことを考えてみましょう。

□の中に、……自分でことばを見つけて、入
れてみましょう。次のページにれいがあるよ。



【書くことのれい】

- 1 この新聞記事しんぶんきじに〇〇に話してみたことは……
- 2 この新聞記事しんぶんきじ本と友達になって、考えが変わったことは……
- 3 この新聞記事しんぶんきじに教えてもらったことは……
- 4 この新聞記事しんぶんきじに教えてもらって、これから自分自分がしてみたいことは……
- 5 この新聞記事しんぶんきじを読んで、はじめて知ったことは……
- 6 この新聞記事しんぶんきじを読んで、調べたり知ったりしたいと思ったことは……
- 7 この新聞記事しんぶんきじを読んで、よく考えてみたことは……



※ うまくことばは入りましたか。

三 二の1から7のほかにも、自分が考えたことや思ったことなどの理由や説明もあると、すばらしいと思います。

たとえば、次のようなことを書いてみましょう。

- 1 自分のしたこととにていると思うのは、……と書いてあるところです。
- 2 もし、自分だったら……するとおもいます。
- 3 自分の経験と同じようだと
思うのは……というところです。
- 4 家の人や先生に話してみると、……でした。
- 5 調べてみると、……でした。
- 6 はじめて、このことを知ったとき
……とおもいました。
- 7 わたしが考えたことを
くわしく言うと……ということです。



四 ニや三の1から7をメモにしてみましよう。

メモをしておく、感想文を書くときに役に立ちますね。

そのほかにも、次のようなことも、メモにしておきましょう。

【メモをすることのれい】

- 1 心に残ったことばや文
- 2 初めて知ったことばや文
- 3 自分の好きなことばや文
- 4 ふしぎに思ったことばや文
- 5 家の人や先生、友達などと話をしたこと
- 6 これから、自分がしたり考えたりしたいこと
- 7 もっと知りたいと思ったこと

【ここにメモをしましょう】



--	--	--	--

このメモを、つなぎ合わせたり、書く順序（じゅんじょ）を考えたりしてみましよう。

そうして、書いていくと、

感想文ができあがりますね。



五 感想文を書いてみよう。

感想文のれいを書いてみますね。ぜひ、読んでみてください。

【例 十二月十五日 「阿波っ子タイムズ」】

Cコースと同じように、「小惑星しょうわくせいの砂採取すなさいしゆ

『はやぶさ2』の新聞記事しんぶんきじを読んで、書きました。

地球生物のもとをさぐる

徳島 花子

小惑星の砂から、地球の生物のもとを探すとは、
どういうことだろう。

わたしは、この新聞記事を読んで、たくさんの

ふしぎなことに出合いました。

小惑星の名前は「りゅうぐう」といって、地球から約三億キロ離れた場所にある星のことだそうです。

「阿波っ子タイムズ」には、

その星の砂を、「はやぶさ2」と

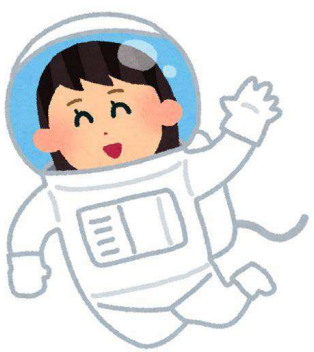
いう日本の探査機が持って帰ってきた

ことが、のっていました。その星の砂を

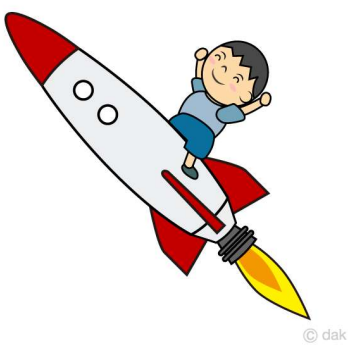
調べると、まず、大昔の太陽系には、どんなものがあったのかがわかるそうです。

わたしは、どうやって調べるのだろうと思いましたが、それよりも、約四十六億年前の地球には、どんなものがあったのか、と考えてみました。

そのころの地球の様子を、頭の中に絵のようにかいてみました。そうしたら、砂のようなものだけしかありませんでした。太陽があると思うので、明るいですが、植物もないし、動物もいません。でも、水だけはあったように思いました。



水は、水たまりのようなものが、たくさんあります。大きいものは、みずうみみたいに見えます。水たまりに魚はいませんが、前にけんびきようで見たことのあるような、とても小さい生きものがあります。これが、生きもののもとになったように思いました。



陸地は、砂のようなどころとねん土のようなどころがあったと思います。もしかしたら、生まれたての地球なので、火山がふん火していたのかもしれないかもしれません。その砂やねん土の中には、目に見えないくらい小さい虫のようなものがいたと思いました。形は、ダンゴムシににっています。

わたしは、おばあちゃんのところ、「阿波っ子タイムズ」を持って、説明に行きました。そうすると、おばあちゃんは、

「花ちゃんの言うことは、当たっているかもしれ

ないねえ。おばあちゃんも、小学生のときに、同じようなことを考えたよ。どれどれ、その新聞を見せてごらん。」

と言って、しばらく新聞を読んでいた。それから、おばあちゃんは、

「地球の生物の『もと』が

わかるなんて、すごいねえ。

おばあちゃんは、理科の本とかに

出てくるプランクトンのような

ものがいたかもしれないなあ

と思ったよ。」

と言ってくれました。わたしは、

「なるほどなあ」と思って、頭の中の絵に、プランクトンも入れてみました。

そうやって、おばあちゃんといっしょに考えているうちに、大切なことに気づきました。

それは、地球ができて、約四十六億年がたった今、地球には、人間も動物もいます。魚もわたし



の大好きな小鳥もいます。木もあるし、きれいな花もあります。海も、山も、川もあります。

考えてみると、地球ができて、約四十六億年の間に、たくさんのいろいろなものができたり育ったりしたのだと思います。

でも、約四十六億年って、とても長い時間です。

長い長い時間がかかって、いろいろなものができました。

わたしも、友達も、まわりの人も、

世界の人も、とても長い時間が

かかってできたのだと気づきました。

そう思うと、自分も、友達も、まわりの人も、世界の人も、自然のものも、ぜんぶ、とても大切なものです。

わたしは、約四十六億年かかってできてきた、地球にいる人、地球にある全部のものや生きものを大切にしたいと思うようになりました。そのた



めに、もっともっとやさしい人になりたいと思うよう
うになりました。

小惑星の砂は、わたしに、「地球を大切にしてく
ださいね」と言っているように思いました。

☆ この感想文を読んで、好きのところや

よく考えて書いているなど思うところを、

二つくらい、書き出してみましよう。

① 好きのところ、よく考えているところなど

--	--	--

② 好きのところ、よく考えているところなど

--	--	--

